

## 愛知県SDGs登録制度 登録申請書

2022年 3月 15日

企業・団体名	社会福祉法人 弥富福祉会	
所在地	弥富市大藤町5番地3	
ご連絡先		
ご担当部署名	施設長	
ご担当者名	伊藤公一	
電話番号	0567-65-5531	
電子メール	<a href="mailto:info@yatomifukushikai.com">info@yatomifukushikai.com</a>	
ホームページURL	<a href="https://yatomifukushikai.com">https://yatomifukushikai.com</a>	

(SDGsの取組がホームページ等に記載がなく、会社案内等に記載がある場合は、添付資料として提出してください。)

### 事業概要 (貴社・貴団体の業務内容を簡潔に記載してください)

高齢者の介護、介護老人福祉施設、通所介護3か所、障がい者グループホーム

業種 いずれか一つにチェックを入れてください。

- 農業、林業、漁業     建設業、鉱業、採石業     製造業  
 電気、ガス、熱供給、水道業、情報通信業     運輸業、郵便業  
 卸売業、小売業     金融業、保険業     不動産業、物品賃貸業  
 サービス業     分類不能の産業、その他

形態 いずれか一つにチェックを入れてください。

- 大企業     中小企業     その他の法人  
 個人事業主     法人格のない団体     その他

### 登録要件の確認

- 県税等の未納はありません。  
 暴力団又は暴力団員と関係を有する事業者等ではありません。  
 法令違反等はありません。  
 自社のホームページ又は会社案内等にSDGsの取組について掲載しています。  
(SNSや、ホームページの「お知らせ」や「新着情報」などの一過性の場所に記載するのではなく、専用ページを設けるなど、SDGsの取組が常時分かるよう掲載してください。)

### 同意事項

- 登録情報及び取組内容について、愛知県がホームページで公表したり、SDGs関連事業で活用することに同意します。

※ 登録申請書の様式はセルの挿入・削除を行わないでください。  
大きさを変えていただくのは構いません。

## SDGsの取組

取組・活動内容	<p>社会福祉法人弥富社会は、以下を経営理念とし、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるようサービスを提供します。1. 私たちは「安全安心信頼」を心がけ、敬愛の念と謙虚な心を持ち、誰もが自分らしく生きがいを持って生活していただけるよう援助します。1. 私たちは福祉サービスの担い手にふさわしい豊かな人間観をもって、専門的知識と技術の向上を図り、質の高いサービスを提供します。1. 私たちは事業を確実に効果的かつ適正に行うために、経営基盤の強化を図るとともに、事業の透明性の確保を図り、地域福祉に貢献します。</p>			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標（※）
	経済	5・8・10	<p>①私たちは福祉サービスの担い手にふさわしい豊かな人間観をもって、専門的知識と技術の向上を図り、質の高いサービスを提供します。②介護が「なりたい職業」の選択肢として魅力やりがいを発信する③女性活躍推進法に基づき男性女性関係なく働くことのできる環境づくり。仕事とプライベートの両立を可能にする働き方を見直す</p>	<p>①質の高いサービスの提供・月1回の研修を実施・利用者家族へのアンケートによる満足度を前年比10パーセントupさせる。2022年度までに介護ロボットを導入する②魅力的な介護の仕事についての情報発信。⇒広報誌、ホームページ情報掲載年4回以上行う③柔軟な働き方ができるルールを作る</p>
	社会	3・11	<p>①利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるようサービスを提供します。②多様で複合的な福祉ニーズに対応し地域共生社会実現に取り組む、すべての利用者の生きがいに沿った自立支援を行う。③利用者の健康長寿と、職員も健康宣言の中での取り組みを行い地域に発信し、住み続けられる街づくりを推進する。</p>	<p>①自立した生活を行うことができるよう居宅サービスの利用率を前年度比5パーセント上げる②複合的な福祉ニーズに対応するため、高齢、障がい施設の交流を増やす③住み続けられるまちづくりのため、サロン開催や認知症推進講師派遣を年3回に増やす</p>
環境	13・14・15	<p>①私たちは事業を確実に効果的かつ適正に行うために、経営基盤の強化を図るとともに、事業の透明性の確保を図り、地域福祉に貢献します。②地球温暖化問題を意識し生活する</p>	<p>①職場内の冷暖房の適正温度管理を徹底する。チェックした結果を職員で情報共有をする。②職員一人一人がペットボトル、割りばし、利用者用の歯ブラシのリサイクルを意識する。一人でも多くの職員が意識できるよう、ポスター等での掲示で促し、2025年までに職員の60%以上の周知を図る</p>	

※経済・社会・環境で各1つ以上、数値目標及び目標年次を記入してください